

日米医学医療交流財団 留学助成

A 項 研修報告書 (2008 年度 助成者)

作成日 2012 年 4 月 10 日

氏 名	恒吉 裕史
研修先機関名 研 修 期 間	Sunnybrook Health Sciences Centre (2006 年 9 月～2010 年 6 月) Toronto General Hospital (2010 年 7 月～2012 年 3 月)
現在所属機関名 分 野 役 職	京都大学医学部心臓血管外科 心臓血管外科 助教
	<p>2006 年 9 月より、Sunnybrook Health Sciences Centre にリサーチフェローとして、勤務させて頂きました。主に、心臓の冠動脈バイパス術中におけるグラフト評価として近赤外線造影装置を用いての研究をしていました。</p> <p>その後、2008 年 11 月より、同センター心臓血管外科でクリニカルフェローとして採用されて、2010 年 6 月まで勤務しました。その間、約 500 例の開心術を経験し、私が 200 例を執刀いたしました。</p> <p>Sunnybrook での研修終了前に、私の日本での所属組織である京都大学の意向もあり、心臓移植、LVAD の研修ができる施設を探すことになり、Toronto General Hospital へのクリニカルフェロー、心臓移植 LVAD フェローポジションへ 2010 年 7 月、異動しました。</p> <p>Toronto General Hospital では、心臓血管外科領域で有名な Tirone David 先生が、Division Head をしており、私を含め 6 名のインターナショナルフェローが在籍しておりました。私がチーフフェローとなり、心移植フェローを兼任しておりました。</p> <p>心移植の際には、ドナーの摘出手術も含め、すべての過程に関与し、ドナーの摘出は 40 例、心移植の執刀は 20 例行うことができました。</p> <p>移植だけではなく、埋め込み型 LVAD の手術、Dr. David の僧帽弁形成、大動脈弁温存手術など、多くの症例を経験することができ、有意義なカナダ研修を行うことができました。</p> <p>2010 年 4 月に京都大学医学部心臓血管外科へ帰学し、カナダでの研修中に学んだことを、還元できるよう努力している次第です。</p>